



(令和5年4月～令和6年3月)

1 第12回通常総会の開催

第12回通常総会が、令和5年6月2日午後3時30分から霞山会館においてオンライン併用によるハイブリッド会議形式で行われた。

安元副会長が議長を務めて審議が行われ、令和4年度（令和4年4月1日～令和5年3月31日）の事業報告・決算報告について承認された。

役員の選任については、5月に行われた正会員会社の記名連記式投票による選挙の結果から、第1回理事会で選出された正会員14名と特別会員から推薦された7名、監事2名が全会一致で承認された。



総会風景

会長、副会長、専務理事の選任

総会終了後開催した第2回理事会において、会長、副会長、専務理事の選任について協議した結果、会長には大下元氏（JFEエンジニアリング株）、また、副会長には薄木徹也氏（JFEエンジニアリング株）、山下芳浩氏（日鉄エンジニアリング株）、小木均氏（日立造船株）、専務理事には牧谷邦昭氏（（一社）日本環境衛生施設工業会）がそれぞれ選任された。

設工業会）がそれぞれ選任された。



新会長に就任した大下元氏

会長表彰

工業会の事業活動に永年貢献された功績により、次の4氏が会長表彰を受け、受賞者を代表して宮崎氏（月島アクアソリューション株）から謝辞があった。

西原 幸志 氏（株西原環境）
宮崎 朗 氏（月島アクアソリューション株）
結城 邦雅 氏（極東開発工業株）
横幕 宏幸 氏（月島アクアソリューション株）



会長表彰(左より宮崎氏、結城氏、横幕氏)

2 理事会の開催

次の各日程及び議題により、理事会が開催され審議が行われた。

◇令和5年5月10日（第1回）

- ・会長表彰について
- ・特別会員の入会について
- ・特別会員の理事・監事への推薦について
- ・正会員理事会社の選出について
- ・令和4年度事業報告（案）について
- ・令和4年度決算報告（案）について
- ・第12回通常総会の開催について

- ・工業会活動の充実・強化について
- ・職務執行状況報告について

◇令和5年6月2日（第2回）

- ・役員の選定等について
- ・顧問について

◇令和5年7月4日（第3回）

- ・常任参与の選任について
- ・企画運営委員会委員の推薦について
- ・技術委員会委員の推薦について
- ・正会員の入会について
- ・工業会活動の充実・強化について
- ・職務執行状況報告について

◇令和5年8月31日（第4回）

（書面による議決権行使の手続きにて実施）

- ・常任参与の指名について

◇令和5年10月1日（第5回）

（書面による議決権行使の手続きにて実施）

- ・常任参与の指名について

◇令和6年3月21日（第6回）

- ・令和6年度事業計画（案）について
- ・令和6年度予算（案）について

3 環境大臣表彰（令和5年度）

令和5年度循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰者として、一般廃棄物処理事業功労者に堀本昇氏（極東開発工業(株)）、富田秀俊氏（株タクマ）、永田隆之氏（メタウォーター(株)）、また、廃棄物・浄化槽研究開発功労者に竹田航哉氏（川崎重工業(株)）と小野義広氏（日鉄エンジニアリング(株)）が受賞し、令和5年10月19日に北九州国際会議場で開催された第67回生活と環境全国大会の式場で表彰状が授与された。

なお、一般廃棄物関係事業功労者は、一般廃棄物処理に関する公益法人等において当該事業の向上及び発展に顕著な功績があった者に対して、また、廃棄物・浄化槽研究開発功労者は、廃棄物の発生抑制、循環的な利用及び適正処分又は浄化槽による雑排水の適正処理に関する研究開発において、広範かつ有益な成果をあげ、廃棄物処理事業等の発展に顕著な功績があった者に対して授与される。

また、表彰を受けた5氏に対し、11月30日、工業会から記念品が贈呈された。



環境大臣表彰受賞者（賞状持っている方）
左から竹田氏、小野氏、富田氏、永田氏
中央大下会長、右端牧谷専務理事

4 建設運営一体事業研究会セミナーの開催

令和6年2月2日に長岡技術科学大学大学院の姫野修司准教授による「廃棄物におけるカーボンニュートラルー脱炭素社会構築の視点ー」と題する講演と質疑が行われた。

5 施設見学会の開催

- ・企画運営委員会

令和5年7月28日に広島市にある「広島中央エコパーク」において施設見学を行い、18名の参加があった。



説明を受けながらの見学（広島中央エコパーク）

- ・技術委員会

令和5年10月19日沖縄県宮古島市にある「宮古島市クリーンセンター」において施設見学を行い、18名の参加があった。

- ・建設運営一体事業研究会

令和5年10月10日に宮崎市にある「エコ

「クリーンみやざき」において施設見学を行い、23名の参加があった。



集合写真(宮古島市クリーンセンター)



説明を受けながらの見学
(エコクリーンみやざき)

6 第21回海外環境事情調査

令和5年11月19日～11月26日まで、スペイン、ポルトガルにおける廃棄物処理施設などに、企画運営委員会等の12名からなる調査団を派遣し、調査を実施した。

スペインではバルセロナにある TERSA 廃棄物焼却施設、バルセロナ郊外マレスメ郡にある新マレスメ総合廃棄物回収センター、タラサ市にある Terrassa 広域 DRANCO プラントを見



Terrassa 広域 DRANCO プラント前(バルセロナ)

学し、ポルトガルではリスボン市にある Alcantara 下水処理場を見学した。

7 環境省との意見交換等

令和5年4月19日に、環境省環境再生・資源循環局 土居局長他と4社（日立造船(株)、(株)タクマ、川崎重工業(株)、(株)神鋼環境ソリューション）の技術委員とが集まり、中長期シナリオに関連する取組状況の説明と2050年カーボンニュートラルに向けた意見交換を行った。

また、令和5年9月（6日、12日、15日、19日の4日間）には、参加を希望した会員会社11社が参加し、環境省環境再生・資源循環局角倉次長ほか関係者に対して、カーボンニュートラルに向けた最新の取組内容等に関する説明と意見交換を行った。更に、12月13日には、資源循環 GX（制度・予算）について環境省からの説明及び質疑を行った。

8 能登半島地震に係る支援活動

2024年1月1日に発生した能登半島地震により被災した地域の復旧に貢献するべく、環境省の要請を受けて、会員会社の協力のもと、被災地域に所在する廃棄物処理施設の被災状況や現場のニーズ等を取りまとめ適時に環境省に伝えるとともに、必要な情報等について関係者に共有した。

9 関係団体との共催

令和5年7月5日に（一社）環境衛生施設維持管理業協会（JEMA）と工業会の技術委員による情報・意見交換等の検討会を開催し、活動報告と質疑を行った。

10 受託調査等の実施

（一財）日本環境衛生センターから「令和5年度 発注仕様書の手引き（熱回収施設編）見直しに係る支援業務」を請け負い、実施した。

11 自由民主党に対する要望

令和5年11月8日に開催された、自由民主

党主催の「予算・税制等に関する政策懇談会」に牧谷専務理事が出席し、「令和6年度予算・税制に関する要望書」を提出し、その内容について説明を行った。

12 関係団体等の各種委員会等への参画

1) 環境省

- ・中央環境審議会大気排出基準等専門委員会
- ・令和5年度PRTR非点源排出量推進方法検討会 廃棄物処理施設排出量作業部会

2) (一財)日本環境衛生センター

- ・「廃棄物処理施設の整備等にかかる低コスト研究会」
- ・「令和5年度デジタル技術の活用等による脱炭素型資源循環システム創生実証事業委託業務」に係る検討会
- ・「令和5年度廃棄物処理システムにおける脱炭素・省CO₂対策普及促進方策検討調査委託業務」に係る検討会
- ・「工作物石綿事前調査者講習標準テキストの作成及びその検証のための検討会」
- ・「令和5年度一般廃棄物処理事業実態調査及び施設整備に係る手引き見直し検討業務」における施設整備に係る手引き見直しに係る検討会

3) (公社)全国都市清掃会議

- ・「第45回全国都市清掃研究・事例発表会」実行委員会

4) (公財)日本産業廃棄物処理振興センター

- ・「産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理の許可に関する講習会（新規及び更新）」及び「特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会」テキスト作成委員会
- ・教育研修運営委員会

5) (一社)廃棄物処理施設技術管理協会 季刊「環境技術会誌」編集委員会

13 関係団体等の各種講習会等への講師派遣

1) 廃棄物資源循環学会

- ・東北支部企画セミナー（講師派遣1名）

2) (一財)日本環境衛生センター

（講師派遣延べ30名）

- ・2023年度「廃棄物処理施設技術管理者講習会」（講師派遣延べ28名）

①中間処理施設コース（2名）

②産業廃棄物焼却施設コース（14名）

③破碎・リサイクル施設コース（4名）

④有機性廃棄物資源化施設コース（4名）

⑤ごみ処理施設コース（4名）

(一社)日本環境衛生センター（西日本支局）

- ・2023年度技術管理者等スキルアップ研修会（講師派遣延べ2名）

①ごみ処理部門（1名）

②し尿・汚泥再生処理部門（1名）

3) (公財)日本産業廃棄物処理振興センター

（講師派遣延べ3名）

- ・産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の収集・運搬/処分課程（更新講習会）（1名）
- ・産業廃棄物の収集・運搬/処分課程（新規講習会）（2名）

4) 中央労働災害防止協会

- ・ダイオキシン類作業指揮者養成研修会（講師派遣10名）

5) (一社)環境衛生施設維持管理業協会

- ・第36回事業所管理者研修会（講師派遣延べ2名）

①ごみグループ研修（1名）

②水グループ研修（1名）

6) (公財)産業廃棄物処理事業振興財団

- ・経営戦略セミナー（1名）

7) 日本技術士会

- ・日本技術士会衛生工学部会（1名）

14 関係団体冊子等への執筆協力

1) (公財)全国都市清掃会議「都市清掃」

375号（令和5年9月1日発行）（3名）

2) (一社)廃棄物処理施設技術管理協会 季刊「環境技術会誌」

191号（令和5年4月1日発行）（1名）